

2006年11月1日

印旛普及だより

第8号

〒285-0026 佐倉市鎗木仲田町8-1 TEL:043-483-1130 FAX:043-485-9502
ホームページアドレス <http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/apcenter/inba/>
発行：印旛農林振興センター振興普及部改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

「ちばエコ農業躍進大会」 盛大に開催される

「ちばエコ農業」の生産促進・流通販売の拡大を目的に、九月二十日（水）、千葉県と印旛地域農林業振興普及協議会主催による「ちばエコ農業躍進大会インいんば」が開催され、農業者、消費者、流通・市場関係者など約150名が参加しました。

☆現地見学とパネルディスカッション

午前中に「ちばエコ農産物」認証の梨栽培ほ場・農産物直売所「スマイルやちまた」・印旛沼水質浄化に

取り組む地区をバス2台に分乗して見学しました。午後からは、印旛合同庁舎で、印旛地



域の農業者3名を含む5名のパネラーを迎え、「笑顔でチャレンジ」と題し、パネルディスカッションが行われ、会場参加者も含めて、真剣な討論が交わされました。



パネルディスカッションの様子



参加者は、「農家の方のご苦労がわかりました。農家が自信を持ってアピールしている農産物を、どのお店でも気軽に買うことができれば・・・」と期待をこめて話していました。

☆展示品の試食とミニ商談会

地域で収穫された「ちばエコ農産物」を素材に女性起業家グループの協力を得て設けた試食コーナーは、れんこん料理・さつまいも料理・おにぎりなど、メニューが豊富で美味しいと大好評でした。併せて設定したミニ商談会では、小売商や外食産業の方々と積極的に交渉が行われていました。

「いかに消費者は新鮮で安心な農産物を求めているか。」また、「食品製造業者・外食産業者は消費者ニーズに的確に応えるために努力をしているか。」を確認できた大会でした。

(中野 拓穂)



試食会会場

さつまいも定植後の活着促進に
苗保護シートを試験導入

「めーでるシート」

このシートは、切れ目の入った紙の両端にポリ製のテープがついた資材で、大阪のメーカーが開発しました。マルチ栽培で苗を植えた後、専用の機械を使って張り付けます。

徳島県のさつまいも産地では、活着促進のために一株ごとにワラをかぶせていましたが、その省力化のために考案されました。JAかとり、JA成田市の生産者で試験的に導入されました。



専用機械での張り付け



初期生育促進効果が現れたほ場

■今年確認された効果

①定植後の苗がしおれにくい

②初期の茎葉の生育促進

■注意点

不織布によるトンネル栽培と比べると生育は遅いので、この資材のみでは早掘りは難しいと思われまます。

■今後の課題

今後は、品質・収量および今年確認できなかった定植直後の強風対策への効果を確認します。水平植えと「めーでるシート」を組み合わせて着イモ本数を増加させ、消費者が求める小ぶりなさつまいも生産への効果が期待されます。(引地睦子)

すいか栽培の土壤消毒を
効果的に！効率的に！

ホモプシス根腐病によるすいかの急性萎凋症対策としてクロルピクリン剤を使った土壤消毒が行われています。農林振興センターでは、より効果を上げるため、そして周辺環境への影響を軽減するために「マルチ畦内処理」を勧めています。従来は、土壤消毒機でクロルピクリン剤を灌注した後、すぐにマルチャーで被覆するという2工程で作業を行っていました。



①土壤消毒

今までの作業

②マルチ被覆



この春、耕耘＋土壤消毒＋ベッド成型＋マルチ被覆を1工程で行う「畝立てマルチ同時土壤消毒機」の試験を行いました。



畝立てマルチ同時土壤消毒機

この機械は、①マルチ被覆でガスの飛散を防ぎ消毒効果を高める、②作業者の安全性を確保する、③周辺環境への影響を防ぐ、④作業効率を上げる、が目的です。

畝立てマルチ同時土壤消毒機を使った圃場ですいかを栽培したところ、慣行の消毒方法と比較して、しおれの程度や根の褐変程度が軽い結果になりました。次作では、試験圃場数を増やして効果の確認を継続する予定です。(田中 亜紀子)

売れる大豆を収穫しよう！

大豆は成熟期に達しても茎の水分が高いため、早刈りすると茎汁のために「汚損粒」になります。逆に、刈り遅れると「裂莢」によるロスだけでなく、降雨等の影響により「しわ粒」等が増加するので、適期、適正な収穫・乾燥作業に努めましょう。

○コンバイン収穫の適期は？

裂莢しやすいサチユタカは、葉柄が落ち始め、茎水分が概ね50%以下となった時に、フクユタカについては、ほとんどの葉柄が落ちて、茎水分が概ね50%以下となった時に収穫を行います。

茎水分は、茎がやや黒味を帯びて手でポキッと二つに折れる状態が約50%の目安です。実際に収穫してコンバインの後ろから埃が立ち上がるようであれば、汚粒の心配はありません。

○品質に大きな影響を与える大事な乾燥作業！

水分の多い大豆を乾燥する際には、裂皮粒やしわ粒が発生しやすく、品質の低下を招くため注意が必要です。

収穫時の水分が18%を超えると徐々に乾燥し、水分18%以下になったら乾燥温度30℃以下で乾燥します。

また、高水分大豆は乾燥ムラを起こしやすいため、攪拌回数を増やしたり、張り込み量を少なくするようにしましょう。

(矢内 浩二)



コンバインでの収穫作業

起業家紹介

伝える心を

おいしさに託して…

八街市の古谷政江さん・千穂さんは、ご家族四人で野菜の専業経営を行っています。



古谷政江さん

政江さんは、以前から忙しい農作業の合間に地域の活動に積極的に取り組んできました。その中で、小学生や消費者を対象に、得意の太巻き寿司を中心とした技術の伝承を行っています。

政江さんの明るく気さくな人柄も相まって「楽しみながら調理し食べる」という食の基本を経験する場を提供してきました。

平成十五年には加工室を新設し、飲食店営業・惣菜製造業の営業許可を取得し、加工品の販売という新部門へのチャレンジ

を始めました。古谷家で作った新鮮な野菜をおいしい漬け物にして『古谷の味』の名称で販売しています。



娘の千穂さん

また、今年五月には菓子製造業の許可を取得しました。こちらは菓子作りが得意な千穂さんが担当です。八街の特産品落花生を使った『落花生さくさくクッキー』がイベントや直売所に『古谷の味』シリーズとして並びようになりました。

野菜の専業経営で、まだまだ加工時間が十分にはとれません。政江さんと千穂さん、それぞれが『古谷の味』としてのヒット商品を生み出せる起業家を目指して、少しずつ取り組んでいます。

(山田 えりか)

食育活動の実践を重ねる 印旛女性農業経営者の会

IWA-NET（印旛女性農業経営者の会）では、七月二十六日、会員十八名が参加し、酒々井町にある児童養護施設「蛍雪学園」にて食育ボランティア活動を行いました。

夏休みに行われる「夕涼み会」での食育活動は今年で三年目を迎え、地元の農産物をおいしく食べる喜び、共に調理する楽しさ、農業者との交流の場として子供達も楽しみにしています。

当日は好天に恵まれ、カレーライス作り・すいか割り・花火・子供達や会員からの出し物などを行なって、楽しいひと時を過ごしました。

生き生きとした表情を持つ純粋な子供達、その子供達をまっすぐに育つように慈しみ、時に厳しく指導している職員の方々の姿に、会員達は大きな刺激を

受け、「食」を通じた貴重な経験となりました。



（山田 えりか）

飼料用トウモロコシサイレージの新しい調製方法

八街市酪農組合は、八月二十五〜二十六日に、新しいサイレージの調製方法の実演会を開催しました。（株）タカキタの細断型ローラーとラッピングマシンを持ち込み、市内の2戸の酪農家のほ場で行いました。この方式は、ハーベスターで

細断したトウモロコシ

を、直径約90cm、幅約90cm、重さ約350kgのロール状にして、ラップを巻き密封するものです。

この調整方法では、

①ラップしたロールを



保存するため固定サイロが不要
②サイロからの取り出し作業がなくなる、③二次発酵がなく、製品ロスを大幅に抑えられる、④長期保存が可能になる、という利点があります。

実演会参加農家は、製品ロスがなく長期保存が可能な点に強い関心を持っていました。

（荒井 真澄）

男女共同参画フォーラム開催のお知らせ

期日 十一月二十一日（火）

午後一時三十分〜

場所 印旛合同庁舎大会議室

内容

①講演「ゆめ・ゆとり・ゆたかさを目指した私の活動」

講師 岩手県生活アドバイザー

会長 工藤勝子氏

②パネルディスカッション

「家族一丸で楽しい農業」をテーマに後継者・女性・経営者等四人のパネラーによる実践事例と会場の参加者と意見交換を行います。これからの印旛農業の活性化について考えましょう。男女を問わず大勢の方の参加をお待ちします。

お問い合わせは、当センター改良普及課まで。

（郡司 喜代子）